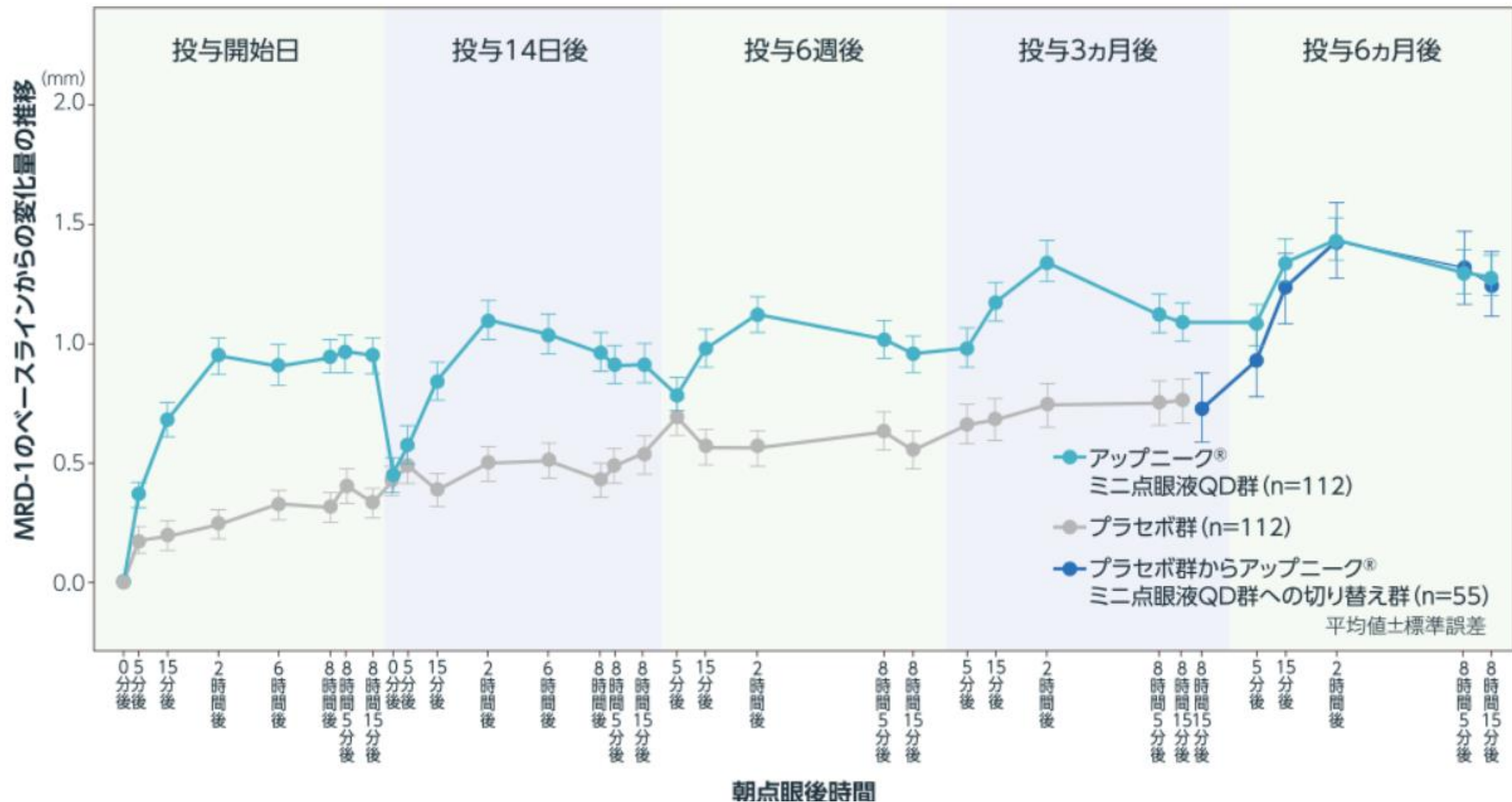
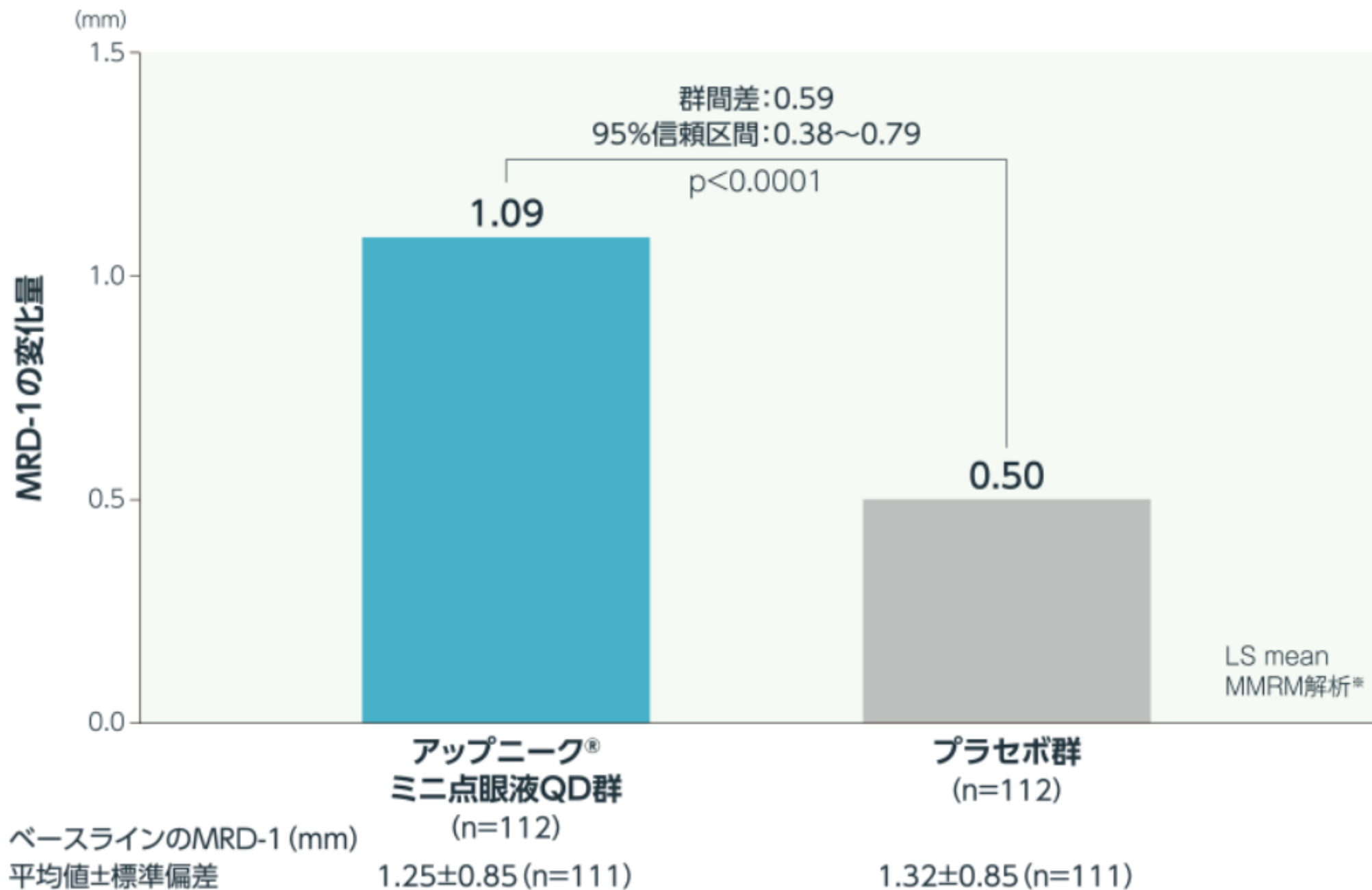


■MRD-1のベースラインからの変化量の推移



■投与14日後（点眼後2時間）のMRD-1のベースラインからの変化量



1. プラセボ群に対する優越性

後天性眼瞼下垂患者を対象とした国内第Ⅲ相試験において、1日1回投与14日後（点眼後2時間）のMRD-1^注のベースラインからの変化量（検証的解析項目）において、本剤のプラセボ群に対する優越性が検証されました（ $p < 0.0001$ 、MMRM解析）。

注）Marginal Reflex Distance-1（上瞼縁角膜反射距離）：前眼部撮影画像で特定される瞳孔中心から上眼瞼縁までの距離をMRD-1と定義し、測定した。

2. 点眼後15分からの後天性眼瞼下垂改善効果

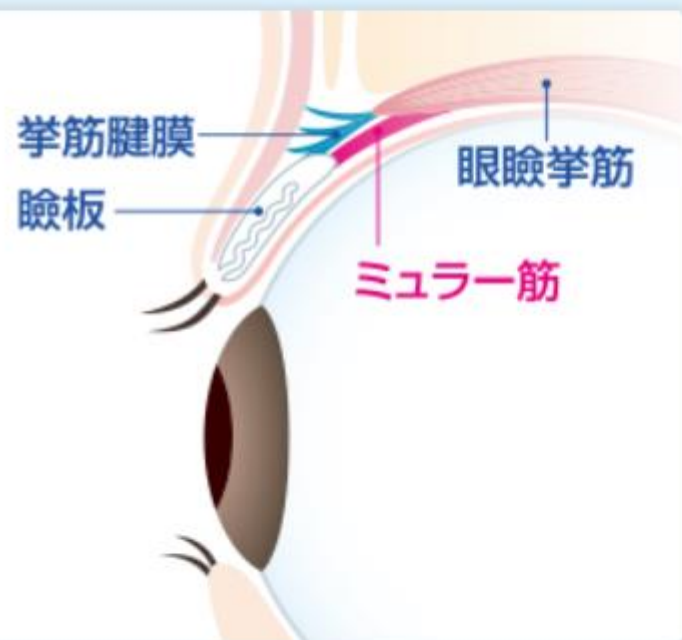
国内第Ⅲ相試験において、投与開始日、投与14日後、投与6週後及び投与3ヵ月後のいずれにおいても、点眼後15分でのMRD-1のベースラインからの変化量におけるプラセボ群との群間差の95%信頼区間 [それぞれ0.31～0.67、0.25～0.67、0.20～0.64及び0.25～0.73] は、0を含みませんでした（探索的解析結果）。

3. 8時間以上にわたる後天性眼瞼下垂改善効果

国内第Ⅲ相試験において、1日1回投与14日後（点眼後8時間15分）におけるMRD-1のベースラインからの変化量において、プラセボ群との群間差の95%信頼区間 [0.15～0.61] は、0を含みませんでした（探索的解析結果）。

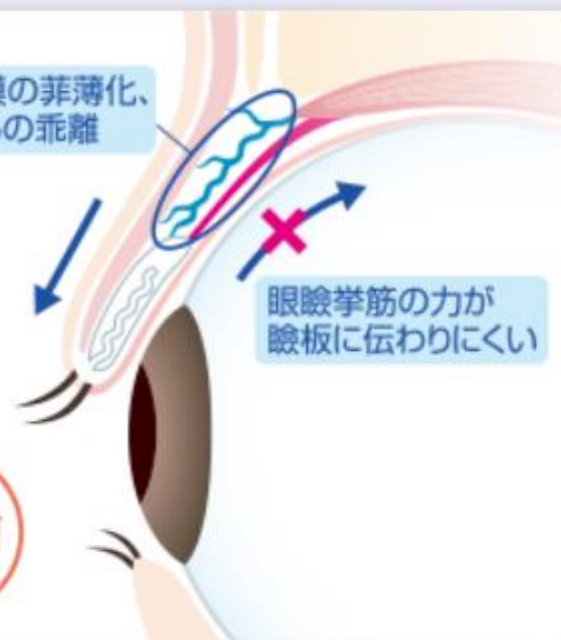
■オキシメタゾリンの作用機序

正常眼



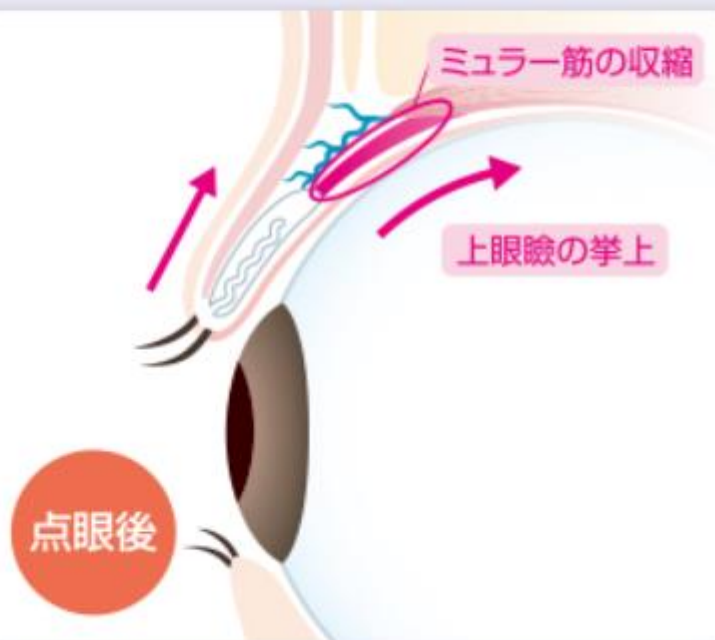
腱膜性眼瞼下垂

挙筋腱膜の菲薄化、
瞼板からの乖離



ミュラー筋の収縮

上眼瞼の挙上



	1%未満	頻度不明
眼	眼瞼そう痒感	結膜充血、点状角膜炎、霧視、結膜浮腫、眼瞼湿疹、視力障害
循環器		血圧上昇、心拍数減少